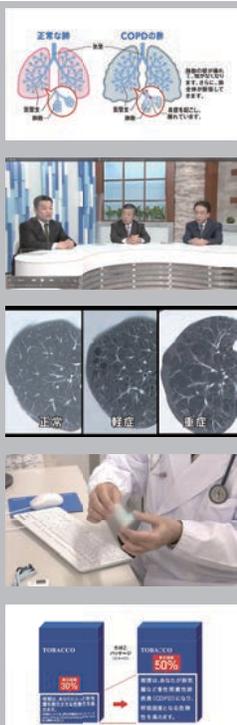




POINT 1

COPDの発症原因は  
喫煙などの肺へのダメージ



POINT 2

早期発見と治療のため、  
肺の健康に関心を持つ



**高久 史磨 先生** (写真左から2番目)  
一般社団法人COPD啓発プロジェクト理事長  
公益社団法人地域医療振興協会 会長  
前日本医学会 会長

**西村 正治 先生** (写真右から2番目)  
一般社団法人COPD啓発プロジェクト理事  
北海道大学 名誉教授  
北海道呼吸器疾患研究所 理事長

**桑平 一郎 先生** (写真右端)  
東海大学医学部附属東京病院  
呼吸器内科 特任教授

**出雲 雄大 先生** (写真左端)  
日本赤十字社医療センター  
呼吸器内科部長

提供：一般社団法人COPD啓発プロジェクト  
COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、一体どんな病気なのか。番組では新型コロナウイルス感染症を経験した赤江珠緒さんの司会で、前日本医学会会長と三人の専門医から最新情報を引き出していく。新型コロナウイルスの時代を乗り切るための処方箋とは。

POINT 3

潜在患者500万人中、  
治療を受けているのは約1割



特集

COPD

新型コロナウイルス  
とCOPD



29:03

BS12トゥエルビ 放映テレビ番組・医療特別番組

POINT 1

睡眠研究の歴史と  
オレキシン発見が与えた影響



POINT 2

眠気に関わる  
2プロセスモデルとは？



IIIS 筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構

**柳沢 正史 先生**

柳沢 正史 先生のご紹介  
●ご経歴  
筑波大学医学専門学群・大学院医学研究科博士課程修了。31歳で渡米、テキサス大学サウスウェスタン医学センター教授とハワードヒューズ 医学研究所研究員を2014年まで24年にわたって併任。2010年に内閣府 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)に採択され、筑波大学に研究室を開設。2012年より文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム 国際統合睡眠医学 研究機構(WPI-IIIS)機構長・教授、現在に至る。  
●受賞・顕彰  
紫綬褒章(2016年)、朝日賞、慶應医学賞(2018年)、高峰記念第一三共賞、茨城県民栄誉賞、文化功労者(2019年)など多数。

POINT 3

質の高い  
睡眠の条件とは？



特集

睡眠

神経科学最大のブラックボックス  
眠気の正体に迫る



Part1 10:47  
Part2 11:16  
Part3 6:34

睡眠覚醒の謎に挑む  
-Special edition-

睡眠の研究は、20世紀初頭に始まって以来、多くの研究者たちが挑んできた分野です。睡眠研究は多岐に渡っており、基礎的なメカニズムの解明から、社会的な視点からの研究まで、幅広く行われています。これらの研究が組み合わさる事で、私たちの睡眠の実態が少しずつ解明されています。  
睡眠覚醒に関しては、睡眠欲求の蓄積と柳沢先生らが発見したオレキシシンによる睡眠覚醒スイッチによって制御されています。このなかで、睡眠欲求は恒常性と体内時計によって制御されること、睡眠覚醒スイッチはオレキシシンという脳内物質が司っていることが解明されました。一方で、睡眠欲求の正体や、睡眠欲求と睡眠覚醒スイッチの関連については現在も不明なままです。覚醒障害であるナルコレプシーの病態にも触れていただきながら、睡眠の研究の現在地と今後の展望に関してご解説いただきました。

腎性貧血

透析期に最適なHIF-PH阻害薬「ロキサデュスタット」



8:01 ロキサデュスタットの作用機序

- POINT 1 2019年11月に世界初のHIF-PH阻害薬「ロキサデュスタット」が発売
- POINT 2 EPO産生促進にくわえ鉄利用を亢進
- POINT 3 ロキサデュスタットの作用機序をCGで分かりやすく動画解説

- 腎性貧血の定義や病態
- HIF-PH阻害薬「ロキサデュスタット」の登場
- HIFを介したEPO遺伝子発現調節  
～通常酸素濃度下と低酸素濃度下の解説～
- ロキサデュスタットの作用機序
  - ①「内因性EPO産生増加」
  - ②「鉄利用の亢進」
- HIF-PH阻害による腎性貧血治療の可能性

chapter



2019年11月、世界初のHIF-PH阻害薬「エベレンゾ錠(ロキサデュスタット)」が透析施行中の腎性貧血の効能または効果で発売されてから11か月が経過し、腎性貧血治療の新たな選択肢として臨床使用が可能となっています。従来のESAを用いた治療は、体内で不足するEPOを直接補充するものでしたが、エベレンゾ錠は「内因性EPO産生の促進」と「鉄利用の亢進」によって赤血球の産生を促進するというメカニズムを有しています。本動画では、エベレンゾ錠の作用機序をCG動画でわかりやすく動画で解説しています。また、実臨床での使用経験についてはWEBシンポジウムにて、診療上で役立つ様々なテーマで配信しております。ご興味のあるコンテンツを合わせてご視聴ください。

提供: アステラス製薬株式会社

睡眠障害

小児期における睡眠の現状と問題点

9:40



- POINT 1 子どもの成長・発達と睡眠の関係
- POINT 2 日本の子どもたちの睡眠環境と問題点
- POINT 3 小児期の不眠・睡眠覚醒リズム障害の主な病型と治療方針



医療法人社団昌仁醫修会  
瀬川記念小児神経学クリニック理事

福水 道郎 先生

●専門分野: 神経学全般、睡眠障害、てんかん  
東京医科歯科大学医学部附属病院小児科、都立墨東病院小児科、国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科などを経て渡米。帰国後は都立東部療育センター小児神経科医長、独立行政法人PMDA第三部審査専門員(臨床医学担当)、都立府中療育センター小児科部長を歴任した後、現職。

幼児期の睡眠不足は脳や身体の発育に影響を及ぼすほか、成長後の肥満のリスク因子となることや認知能力の遅れと関連することなども報告されています。しかし、日本の子どもたちの睡眠時間は諸外国と比べて短く、年齢に応じた推奨睡眠時間をしっかりと確保できていない可能性があります。今回は、日本の子どもたちの睡眠環境と問題点や、小児期にみられる不眠・睡眠覚醒リズム障害の主な病型と治療方針などについても詳しく解説いただきました。

提供: ノーベルファーマ株式会社



亜鉛

炎症性腸疾患と低亜鉛血症 亜鉛不足状態が炎症性腸疾患に与える影響

8:05



- POINT 1 亜鉛の低摂取は潰瘍性大腸炎の発症リスクの一つ
- POINT 2 亜鉛不足状態が炎症性腸疾患を増悪させる機序の一端
- POINT 3 クロウン病の疾患活動性と血清亜鉛濃度は負の相関関係



京都府立医科大学大学院  
医学研究科消化器内科学 准教授

内藤 裕二 先生

●専門分野: 消化器病学、消化器内視鏡学、消化管、酸化ストレスと消化管炎症

栄養素の一つで、必須微量元素である「亜鉛」は様々な食品から摂取しています。日本人の食生活の変化により、亜鉛を摂取している食品群には変化が認められていますが、亜鉛摂取状況は男女問わず、どの世代においても、一定の割合で推計平均必要量に摂取量が達していないことが分かっています。炎症性腸疾患において、栄養素と病態に深い関連があることが分かり始めており、今回は「亜鉛」と炎症性腸疾患の病態との関連について解説いただきました。

提供: ノーベルファーマ株式会社



注目動画1

注目動画2

注目動画3